

安心して採血を受けていただくために

採血について

「採血」は病気の診断や病状の把握を行う検査のため、血液を採取する医療行為です。多少の痛みを伴いますが、極めて安全性の高い手技です。当院では資格を有する臨床検査技師や看護師等が採血を担当しています。しかし稀に合併症を引き起こすことがあります。【安全】で【間違いのない確実な採血】を行うために、以下にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



採血 を受ける方へ



●本人確認にご協力ください。

「患者間違い防止」のため、ご自身で **お名前（姓名）** と **生年月日** を言っていただいています。

●以下に該当する方は、事前に採血スタッフにお申し出ください。

- ・採血時に気分の悪くなったことのある方
- ・消毒薬（アルコール）や手袋（ラテックスなど）にアレルギーをお持ちの方
- ・血液透析中の方
- ・乳房切除手術を受けられた方
- ・血液をさらさらにする薬（ワーファリン・プラビックスなど）を服用中の方
- ・その他、採血に関してご希望や不安のある方

採血針を刺しても採血できない場合や、1回の採血で必要な血液量が採取できない場合があります、その際はもう一度採血させていただくことがあります。



採血に伴う合併症について

「採血」は、基本的に安全な手技であり、併発症（合併症）を起こすことは極めて少なく、また軽症なものが多いとされていますが、まれに次のような症状が起こることが報告されています。

●止血困難・皮下血腫（青あざ）

不十分な止血操作などが原因です。

5分間十分圧迫して（押さえて）止血してください。

それでも止まりにくい方はお申し出ください。



●神経損傷

採血後も手指へ広がる痛み、しびれなどが持続することがあります。約1万～10万回の採血に1回程度起こるとされています。このような痛み、しびれが続く場合はお申し出ください。



●アレルギー

採血時の消毒薬やスタッフの手袋（ラテックス）などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出る場合があります。



●血管迷走神経反応

採血時や採血前後に、神経が興奮し急激に血圧が下がることによって、めまい、気分不良、意識消失などを引き起こすことがあります。気分が悪くなればすぐにお申し出ください。しばらく休んでいれば治りますので心配はいりません。

